

図書館と学校の連携に関する事例調査票（図書館用）

記入者職名	
記入者氏名	

1 基礎情報 【貴館の施設等についておたずねします】

【施設データ】

①館名					
②所在地	〒 住所 TEL		FAX		
③設置年	年		④延床面積 m²		
⑤設置主体			⑥入館者数（平成21年度） 人		
⑦HPの有無	有【アドレス 】 無				
⑧所蔵資料 <small>蔵書数以外は有無を○か ×でご記入ください。</small>	蔵書数	冊	郷土資料		視聴覚資料
	地方行政資料		美術品		記録

【施設の管理運営等】

①	職 種	専 任	兼 任	兼任の職名	勤務の形態
職 員 の 状 況	館長	人	人		常勤・非常勤
	副館長	人	人		常勤・非常勤
	司書	人	人		常勤・非常勤
	司書補	人	人		常勤・非常勤
	管理系職員	人	人		常勤・非常勤
	その他()	人	人		常勤・非常勤
	計	人	人		
	該当する事項に○を記入ください。 (1) 館長が教員の退職者である。() (2) 副館長が教員の退職者である。() (3) 教員から異動している職員が配置されている。() (4) 教員の退職者である非常勤職員・嘱託職員が配置されている。()				
②友の会 <small>該当する方の□にチェック を入れてください。例 <input checked="" type="checkbox"/></small>		<input type="checkbox"/> 組織している（会員 () 名 <input type="checkbox"/> 組織していない （組織の名称：)			
③図書館支援にかかわる ボランティア <small>該当する方の□にチェック を入れてください。例 <input checked="" type="checkbox"/></small>		<input type="checkbox"/> ボランティア組織がある（名称 ()) <input type="checkbox"/> ボランティアはいるが、組織化されていない（ () 名) <input type="checkbox"/> 団体と個人で活動するボランティアが混在する <input type="checkbox"/> ボランティアは組織も個人も受け入れていない			

2 図書館と学校の連携の実態

問1 貴館は、学校と連携した事業（学校へ出向いての読み聞かせ、図書の貸出、司書教諭等への研修など）を実施していますか。該当する記号に○をつけてください。

- ア はい → 問3、4、5、6へ進んでください
イ いいえ → 問2へ進んでください

問2 いいえの理由はどのようなものですか。
理由を記入してください。

記入後、問12以降へ進んでください

問3 学校との連携に関して、貴館を利用している学校の校種別利用状況は、概ねどの程度ですか。（合計が10割となるよう0～10で記入願います。）

幼稚園（ ）割 小学校（ ）割 中学校（ ）割
高等学校（ ）割 特別支援学校（ ）割

問4 学校（児童生徒・教員）の貴館利用に関しておたずねします。

① 実施していること（記号）に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 教科での調べ学習（学習室等の貸出）
イ 児童生徒を対象とした主催事業（お話し会など）
ウ 職場体験（但し司書資格取得に係る実習を除く）の受入れ
エ 学校教員を対象とした研修会の実施
オ 体験活動プログラムの提供
カ 新蔵図書の案内
キ 授業等に係るレファレンスサービス
ク 施設見学への対応
ケ 職業調べへの対応
コ その他（ ）

② 貴館が学校（児童生徒・教員）に利用されることの利点はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 日常の来館者数が増加した
イ 新たな企画の創出など図書館業務の工夫につながった
ウ ボランティアや地域との連携を意識するようになった
エ 学校との連携を意識するようになった
オ その他（ ）

③ 学校（児童生徒・教員）の貴館利用にともなう課題はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 来館の交通手段（バス等）の確保が不十分
イ 児童生徒に対応するスペースの不足
ウ 対応する職員の不足
エ 学校利用に対応してくれるボランティアが不足（又はいない）
オ 蔵書数や資料の不足
カ その他（ ）

問5 学校へ出向く活動（館外活動）についておたずねします。

① 実施している事業の記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 司書等が学校に出かけて読み聞かせ等を行う
- イ 移動図書館
- ウ 蔵書・資料の貸出
- エ 授業支援
- オ 職員研修
- カ その他（ ）

② 学校へ出向く活動（館外活動）事業を実施することによる成果はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 日常の来館者数が増加した
- イ 図書館業務の工夫や改善につながった
- ウ ボランティアや地域との連携を意識するようになった
- エ 学校との連携を意識するようになった
- オ その他（ ）

③ 学校へ出向く活動（館外活動）事業の実施にともなう課題はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 移動等の予算（出張旅費）が不十分
- イ 対応できる職員の不足
- ウ 対応する教員との打合せ時間の不足
- エ 対応する教員との意思疎通の不足
- オ 授業等で活用できる蔵書や資料の不足
- カ 蔵書や資料を運搬する方法や手段が不十分
- キ その他（ ）

問6 研修・広報・普及活動等についておたずねします。

① 実施している事業の記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 教員を対象とした研修の実施（年間 回）
- イ 教員を構成メンバーとした図書館活用研究会等の実施
- ウ ホームページ上における子ども向けサイトの開設
- エ 教員向けメルマガの配信
- オ 児童生徒の作品を図書館で募集・展示
- カ 図書館だよりを作成・発行し、学校にも送っている
- キ その他（ ）

② 研修・広報・普及活動等を実施することによる成果はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 日常の来館者数が増加した
- イ 図書館（事業を含む）の周知につながった
- ウ 図書館事業の工夫や改善につながった
- エ ボランティアや地域との連携を意識するようになった
- オ 学校との連携を意識するようになった
- カ その他（ ）

③ 研修・広報・普及活動等にともなう課題はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。（複数回答可）

- ア 学校との打合せの時間が十分とれない
- イ ホームページや図書館だより等の作成の時間や予算が十分とれない
- ウ 展示や活動スペースが不足している
- エ 学校利用に対応する職員が不足している
- オ 活動を支援するボランティアが不足している（又はいない）
- カ その他（ ）

問7 問4～6の回答の中での特徴的な取組事例について具体的に御紹介ください。
又はチラシ等の資料がある場合は、その添付のみで結構です。

問8 貴館を利用する学校ではどのような教科・領域に関して利用していますか。該当する記号すべてに○をつけてください。(貴館で掌握している範囲で回答願います。)

- | | | |
|-----------|-------------|-------------|
| ア 国語 | キ 図画工作 | ス 総合的な学習の時間 |
| イ 社会 | ク 家庭 技術・家庭 | セ その他 () |
| ウ 算数 (数学) | ケ 体育 (保健体育) | |
| エ 生活 | コ 外国語 | |
| オ 理科 | サ 道徳 | |
| カ 音楽 | シ 特別活動 (遠足) | |

問9 学校との連携における成果はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。(複数回答可)

- ア 日常の来館者が増加した
- イ 利用する学校が増えた
- ウ 夏休みの児童生徒の利用者が増えた
- エ 土日の児童生徒の利用者が増えた
- オ 新たな企画等に生かすことができた
- カ 学校利用に対してボランティアが支援をするようになった
- キ その他 ()

問10 学校との連携における課題はどのようなことですか。該当する記号に○をつけてください。(複数回答可)

- ア 学校教員との連絡調整等のための時間が不十分
- イ 異動があるため担当の教員との継続的な連携ができない
- ウ 学校がどのようなものを必要としているか把握できていない
- エ 学校対応のための受入態勢が整備されていない
- オ 職員数が少ないため、十分な対応ができない
- カ 業務が多忙のため、十分に対応できない
- キ スクールバス等の交通手段が不足している
- ク その他 ()

3 学校との連携の組織体制について

問11 学校との連携のための組織体制についておたずねします。該当する記号に○をつけてください。

- ア 学校との連携に関する担当者 (窓口) がいる
- イ 学校との連携に関するボランティア (窓口) がいる
- ウ 図書館利用委員会等を組織している (当該利用校の教員を含む)
- エ 図書館利用委員会等を組織している (当該利用校の教員を含まない)
- オ その他 ()

4 学校との連携の意義について

問 12 これからの図書館運営の上で、学校との連携の必要性について、該当する記号に○をつけてください。(複数回答可)

- ア 図書館の利用者の増加のため
- イ 図書館業務の活性化のため
- ウ 開かれた図書館を目指すため
- エ 図書館の運営方針にうたわれているため
- オ 地域社会との関係づくりのため
- カ ボランティアの活動の場の提供のため
- キ 学校との連携は必要ない
- ク その他 ()

5 ボランティアの参加について

問 13 貴館では図書館業務を支援するボランティアを受け入れていますか。該当する記号に○をつけてください。

- ア はい → 問 14、15、16へ進んでください
- イ いいえ → これで質問を終わります。御協力ありがとうございました。

問 14 ボランティアの方々と、学校との連携事業とのかかわりについて、該当する記号に○をつけてください。

- ア 児童生徒への読み聞かせ
- イ 職員研修への協力
- ウ 連携事業の窓口および学校教員との打合せ
- エ 蔵書・資料の貸出
- オ 授業支援
- カ 関与していない
- キ その他 ()

問 15 学校との連携の中で、ボランティアが対応していることの成果は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。

- ア ボランティアの活動意欲が向上した
- イ ボランティアの活動時間が拡大した
- ウ ボランティアの活動内容が多様化した
- エ その他 ()

問 16 学校との連携の中でボランティアが対応していることの課題は、どのようなことですか。該当する番号に○をつけてください。

- ア 対応するボランティアの不足
- イ ボランティアへのニーズがない
- ウ 活動内容の多様化に対する予算的対応ができない
- エ 活動スペースの不足
- オ 打合わせ日程がとりにくい
- カ 児童・生徒への対応のスキルが不十分
- キ その他 ()

御協力ありがとうございました。